

BUSINESS REPORT

第90期 報告書

2019.1.1 ▶ 2019.12.31

市光工業株式会社





当連結会計年度における我が国経済は、内需面では、10月の消費増税後の落込みはあったものの、改元に伴う大型連休や消費増税前の駆け込み需要などがカバーし、通期では前年比プラスを維持した一方、外需面では、米中貿易戦争の影響で中国向けなどアジアを中心に輸出が前年比で減少し、全体としては、景気は減速傾向で推移いたしました。

海外では、米国は消費や雇用など景気指標は総じて良好な水準を維持した一方で、中国は米国向け輸出の減少などによる景気の減速傾向は継続しているものの、内需面で個人消費の減少幅の縮小、外需面ではアセアンなど新興国需要により輸出の減少幅が縮小するなど、一部改善もみられるようになりました。アセアンの新興国については、中国の景気減速の影響から輸出が落ち込んでおり、特にタイの成長率の鈍化傾向が顕著となるなど、堅調に推移してきた景気にやや弱さが見られるようになりました。

当社グループが属する自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は10月の消費増税後の内需の落ち込みから前年同期比で減少しました。アセアンの自動車生産は、マレーシアの生産台数は増加しましたが、タイは国内販売が増加したものの輸出が減少し生産台数は減少、インドネシアの生産台数も減少となり、アセアン3カ国の合計では自動車生産台数は前年同期比で減少となりました。また、中国の自動車生産台数は、景気減速の影響から特に乗用車の生産がふるわず、前年同期比で減少しました。

このような環境のもと、当連結会計年度においては、アセアンの海外子会社の合算ベースでは増収増益を確保しました。一方で、中国のミラー生産子会社が減収減益となったことに加え、日本国内は、昨年来の好調な車種の増産は継続したものの輸出車種を中心とする減産などの影響や、研究開発費などの費用の増加により、前年同期比で減収減益となりました。この結果、売上高は133,053百万円(前年同期比5.4%減)、営業利益は6,440百万円(前年同期比28.5%減)となりました。また、経常利益は7,363百万円(前年同期比24.0%減)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は5,214百万円(前年同期比46.5%減)となりました。

また、配当につきましては、当社は、(1)内部留保を活用した研究開発および設備投資により企業価値の向上を図ること、および、(2)株主の皆さまに対する利益還元の向上を図ってゆくこと、これら(1)(2)の双方を達成することを経営の重要課題と考えております。かかる基本方針に基づきまして、2019年12月期の配当につきましては、厳しい競争環境を勝ち抜く競争力を確保するために旺盛な技術開発の資金需要があることや、配当性向は昨年を上回る水準を確保することなどを総合的に考慮し、期末配当につきましても中間配当に引き続き1株当たり3円50銭とし、昨年と同額の年間配当7円を維持することとさせていただきます。

次期の見通し

2020年12月期の業績予想につきましては、中国を中心とした新型コロナウイルスの蔓延や米中貿易摩擦の影響など、自動車生産の市場動向は予断を許さない状況が続いておりますが、アセアンの生産は前年に引き続き増収を見込んでおり、国内もランプ類を中心に増収を確保することを予想しております。

2020年12月期の業績は、売上高は137,000百万円、営業利益は7,200百万円、経常利益は7,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,500百万円を予想しております。

2020年12月期の配当に関しましては、増収増益を確保できる見通しであることや、配当性向のさらなる向上を図る観点から、1円増配の年間配当8円を予定しております。

なお、これらの予想・予定には、新型コロナウイルスの蔓延による生産、調達、販売などへの大きな影響は考慮しておりません。

株主の皆さまにおかれましては、より一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 Heiko Sauer (サワー ハイコー)



連結財務ハイライト

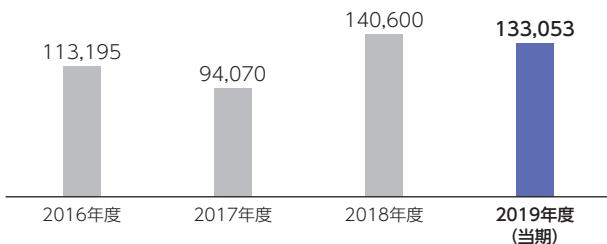
売上高	133,053百万円
営業利益	6,440百万円
経常利益	7,363百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	5,214百万円
配当	
期末配当	3円50銭

連結財務の推移

(注) 2017年度は4月1日から12月31日の9ヶ月間になっております。

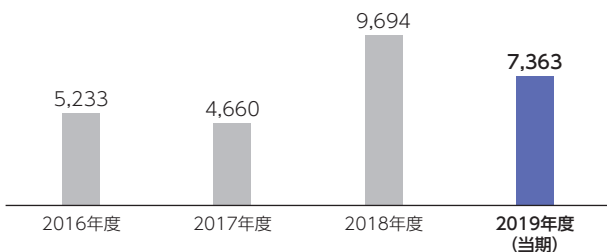
売上高

(単位：百万円)



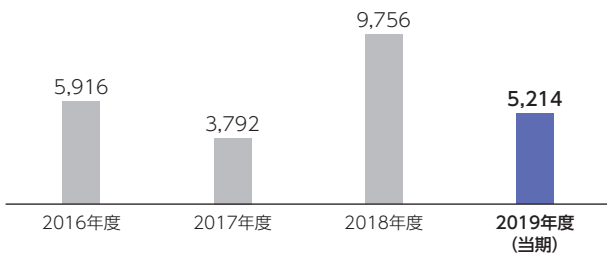
経常利益

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

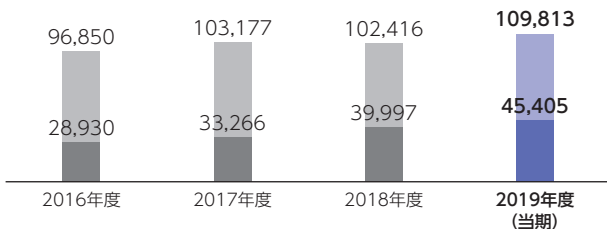
(単位：百万円)



総資産・純資産

(単位：百万円)

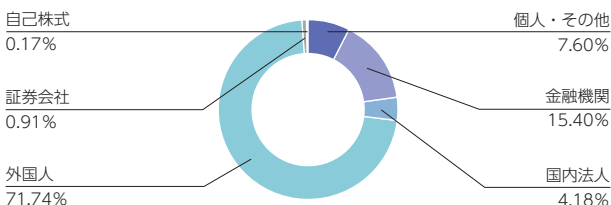
■ 総資産 ■ 純資産



株式の状況 (2019年12月31日現在)

発行済株式の総数	96,292,401株
発行可能株式総数	200,000,000株
株主数	5,450名

所有者別分布状況 (株式数)

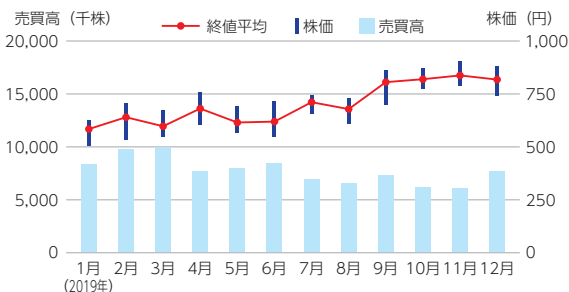


大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
ヴァレオ・バイエン	58,791 千株	61.16 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,467	5.68
株式会社みずほ銀行	4,775	4.96
ダイハツ工業株式会社	2,712	2.82
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,534	2.63
BNP PARIBAS SEC. SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/ UCITS ASSETS	1,130	1.17
BNP PARIBAS SEC. SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN STANDARD SICAV I CLIENT ASSETS	1,118	1.16
日本生命保険相互会社	1,040	1.08
JP MORGAN CHASE BANK 385151	866	0.90
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	580	0.60

- (注) 1. 持株比率は自己株式 (164,996株) を控除して計算しています。また、表示単位未満を切り捨てて表示しています。
 2. 発行済株式の総数の10分の1以上の数を保有する大株主1名を含め、上位10名の株主を記載しています。
 3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、5,467千株であります。

株価および株式売買高の推移



(要約) 連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度 2019年12月31日	前連結会計年度 2018年12月31日
資産の部		
流動資産	46,255	43,589*
固定資産	63,558	58,826*
有形固定資産	42,760	39,048
無形固定資産	1,287	1,309
投資その他の資産	19,510	18,467*
資産合計	109,813	102,416
負債の部		
流動負債	45,821	46,853*
固定負債	18,586	15,565*
負債合計	64,407	62,418
純資産の部		
株主資本	45,713	41,239
その他の包括利益累計額	△1,473	△2,441
非支配株主持分	1,165	1,199
純資産合計	45,405	39,997
負債及び純資産合計	109,813	102,416

(注) 1. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」にともなう表示金額の変更がございます。(＊印)

2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2019年1月1日から 2019年12月31日まで	2018年1月1日から 2018年12月31日まで
売上高	133,053	140,600
売上原価	105,482	111,470
売上総利益	27,570	29,130
販売費及び一般管理費	21,130	20,127
営業利益	6,440	9,003
営業外収益	1,450	1,562
営業外費用	527	871
経常利益	7,363	9,694
特別利益	0	4
特別損失	240	267
税金等調整前当期純利益	7,123	9,431
法人税等	1,937	△360
当期純利益	5,185	9,791
非支配株主に帰属する当期純利益	△29	35
親会社株主に帰属する当期純利益	5,214	9,756

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	2019年1月1日から 2019年12月31日まで	2018年1月1日から 2018年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,122	21,630
投資活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△16,724	△5,824
財務活動によるキャッシュ・フロー (△は減少)	△1,409	△14,818
現金及び現金同等物に係る換算差額 (△は減少)	△6	△195
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,018	793
現金及び現金同等物の期首残高	10,215	9,422
現金及び現金同等物の期末残高	8,196	10,215

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

東京モーターショー2019出展

多くの来場者で賑わったICHIKOHブース

2019年10月24日から11月4日の12日間にかけて、東京ビッグサイトに、「第46回東京モーターショー2019」が開催されました。日本自動車工業会の発表によると、総来場者数は130万900人。前回の約77万人と比較すると大幅に増加しました。特に14歳以下の来場者の割合は前回比で約7割増加するなど家族連れや若年層の来場が多かったのが今回の特徴です。

東京モーターショー2019のテーマは「OPEN FUTURE」。未来のモビリティ社会を体験してもらおうと192の企業・団体が参加し、業界の垣根を超えて「クルマ・バイクのワクワクドキドキ」に加え、「未来の暮らし」「未来の街」にまで領域を広げました。

ICHIKOHは2015年の再開から連続で3回目の出展。今回はライティングに焦点を当て、ヘッドランプとリアコンビネーションランプのCGを駆使したHDライティングのヴァーチャル・リアリティ（VR）、自動運転時代の車両の動きや意思を周囲のドライバーや歩行者に光やサインで伝えるコミュニケーション・ライティングの実物大モックアップ、実物のヘッドランプとリアコンビネーションランプの分解モデルを展示しました。

ICHIKOHブースは連日かつてないほどの大賑わいで、VR体験を待つ方々に整理券を配布したり、さまざまな角度からの質問に答えたりと休む間もなく対応に追われ、社内から集まったのべ48人のアテンド要員たちからは、うれしい悲鳴が聞かれました。VRを体験した来場者だけでも約2,000人。コミュニケーションライティングのアンケートには約3,000人の来場者が応えてくださいました。



ICHIKOHブース

ICHIKOHブース展示紹介

HDライティング (VR) & コミュニケーション・ライティング

■HDライティング

CGを駆使したHDライティングのヴァーチャル・リアリティー (VR)「HDライティング」は、高輝度の光源と電子デバイスによってピクセル単位で光をコントロールし、高精密なヘッドライトの光によってドライバーの運転をサポートする技術です。ロービーム領域では路面に線や記号、数字などを照射し、車幅を示すガイドラインやレストランへのナビ情報などをドライバーに知らせます。ハイビーム領域では照射パターンを高解像度化し、必要最小限に遮光することで、対向車、先行車への幻惑を防止しながらドライバーの視認性を同等に保ちます。近い将来登場する、進化したヘッドランプによる運転支援をVRで体験していただきました。



HD Lighting Virtual Reality

■コミュニケーション・ライティング

自動運転時代の新たなライティングソリューションとして、車両がドライバーの代わりとなり光で意思を表現する「コミュニケーション・ライティング」の実物大モックアップを展示しました。ヘッドランプだけでなくフロントグリルを網目状に光らせることでメッセージ性を持たせました。コミュニケーション・ライティングは自動運転社会でのライティングの新たなHMI (Human Machine Interface) として、人間とクルマが情報をやりとりするための手段・装置としての光になります。LED約400個を使用したコミュニケーション・ライティングは、自動運転時にドライバーのアイコンタクトやジェスチャーに代わって車両の動き (意思) を周囲のドライバーや歩行者に、光のサインで伝えます。ブースでは、対向車への「サンキュー」や、歩行者への「横断OK」など約10種類のシナリオを表示し、来場者にクルマの意思が伝わるかというアンケートも実施して検証しました。



Communication Lighting

会社概要 (2019年12月31日現在)

商号	市光工業株式会社
設立	1939 (昭和14) 年12月20日
資本金	8,986,364,953円
従業員数	連結 3,796名 (1,808名) 単体 1,853名 (899名)

(注) 従業員数は契約期間に定めのない従業員であり、パートおよび派遣社員など、契約期間に定めのある従業員は () 内に期間中の平均人員を外数で記載しています。

本店 〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地
TEL 0463 (96) 1451 FAX 0463 (96) 2080

事業所

本社・テクニカルセンター	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
伊勢原製造所	〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80 TEL 0463 (96) 1451
厚木製造所	〒243-0214 神奈川県厚木市下古沢857 TEL 0462 (90) 4754
藤岡製造所	〒375-8508 群馬県藤岡市東平井1467 TEL 0274 (23) 2211
ミラー製造所	〒375-8507 群馬県藤岡市藤岡1360 TEL 0274 (23) 2121
中部支店 (名古屋テクニカルセンター)	〒468-0011 愛知県名古屋市中天白区平針1-117 TEL 052 (848) 6002
東京営業 (アフターマーケット部)	〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-19 TEL 0463 (43) 7225
太田営業所	〒373-0851 群馬県太田市飯田町1245-1 TEL 0463 (43) 7210
大阪営業所	〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-16-3 TEL 0463 (43) 7242

取締役および監査役 (2020年3月26日現在)

代表取締役会長	オードバディ アリ
代表取締役社長	サワー ハイコー
取締役	宮下和之
取締役	中野秀男
取締役	白土秀樹
取締役	ヴィラット クリストフ
取締役	マルテネッリ マウリッツオ
取締役	ガルニエ ロドルフ
社外取締役	青松英男
社外取締役	ラヴィンニュ ジャンジャック
常勤監査役	橋本寿来
社外監査役	鶴巻 暁
社外監査役	スベストル ピエール

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から同年12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
剰余金配当支払株主確定日	毎年12月31日
中間配当金支払株主確定日	毎年6月30日
基準日	毎年12月31日 (そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告掲載方法	当社ホームページ http://www.ichikoh.com/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
単元株式数	100株

- 住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ホームページのご案内

会社案内、新製品情報、採用情報、株主・投資家情報などの企業情報を掲載しております。

<http://www.ichikoh.com/>



ICHIKOH

a Valeo company

市光工業株式会社

〒259-1192 神奈川県伊勢原市板戸80番地

TEL.0463-96-1451 FAX.0463-96-2080

URL : <http://www.ichikoh.com/>

UD
FONT

見やすく読みまちがえ
にくいユニバーサル
デザインフォント
を採用しています。

